

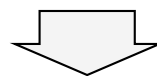
これからの時代に求められる
「部下指導力強化研修」のご提案

2024年12月吉日
株式会社ビブレンス

<研修企画にあたっての与件>

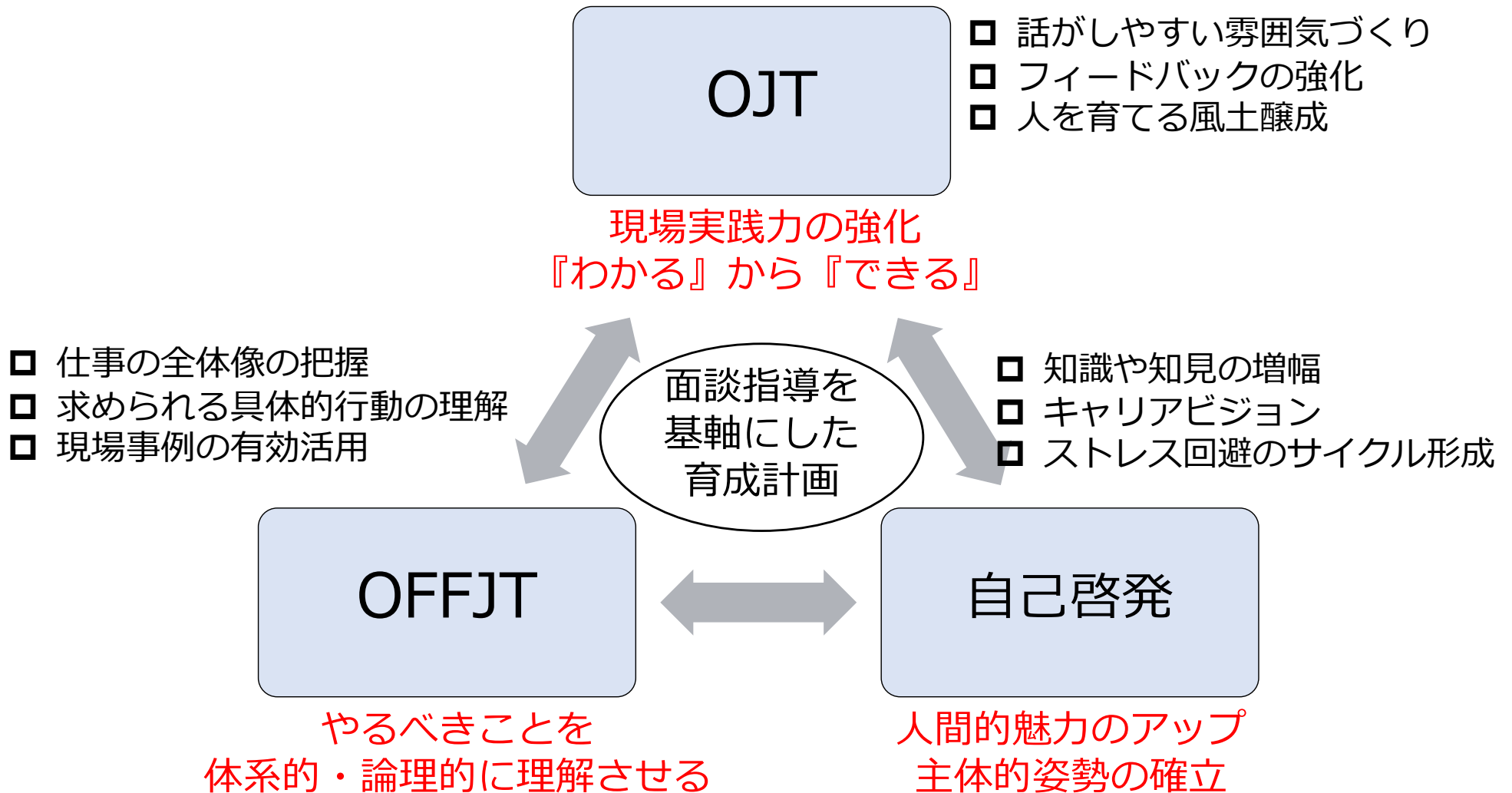
現状認識

1. いわゆる「背中をみせる」的な感覚的、暗黙知的な指導が中心で、教える人によってバラツキがあり、成長過程も見えにくい（属人性の固定化）
2. 人員削減や働き方改革の推進に伴い、部下やとの接点が少なくなり、部下への理解が進まず、人間関係が深まらない状況が散見される（絶対的時間の不足）
3. 労働価値観の多様化やコンプライアンス強化の影響で、部下やメンバーへ必要以上に気を遣い、厳しい指導訓練ができなくなっている（ガバナンスの弱体）



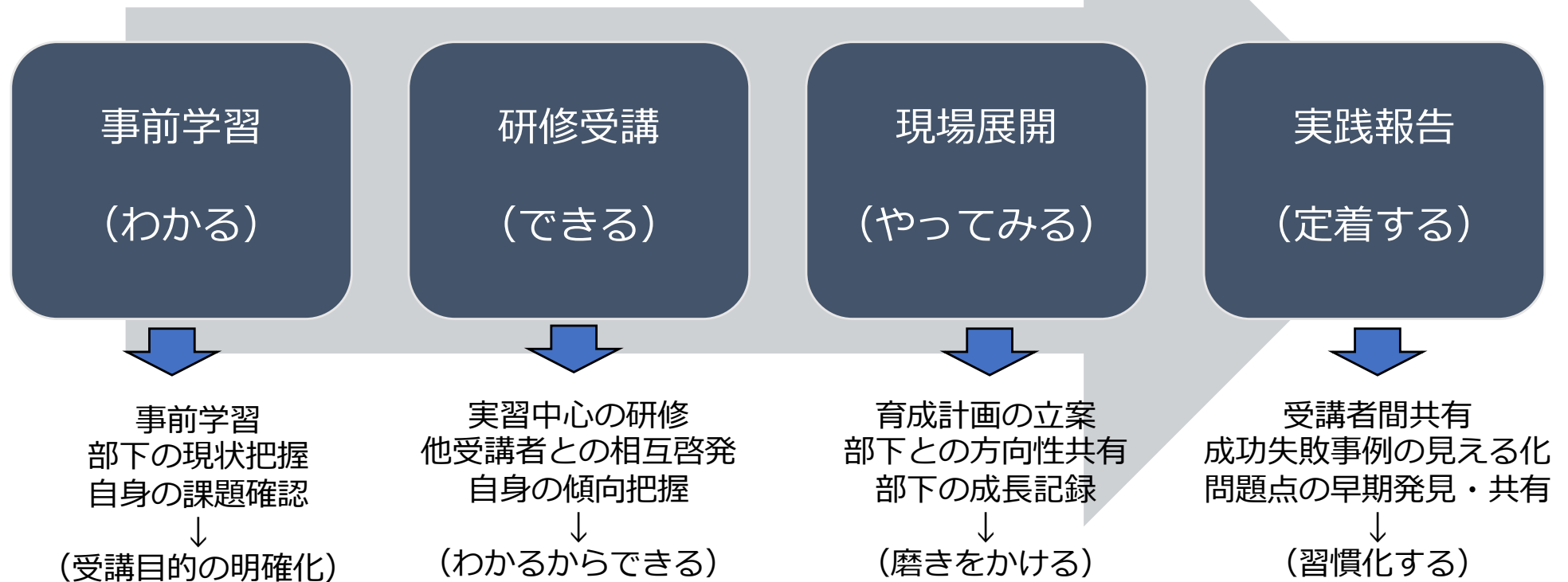
研修のゴール

1. 上司として、限られた機会や時間を前提として「意図的・体系的・継続的」に進めていけるOJT中心の部下指導の全体像を理解する
2. 部下の特徴（特性）を理解し、それに合わせた接し方のポイントを踏まえた上で、言うべきことや厳しいことを伝える手法を習得する
3. 部下やメンバーと方針や課題を共有するための、短時間個人面談指導の具体的な進め方を理解し、今後の取り組みや啓発ポイントを考察する



部下育成指導の全体像を把握した上で対面指導の効果性を高めます

事前・事後の仕組みを充実させ、現場実践の精度向上を図ります



| | 項目 | 内容 |
|----|--|---|
| 午前 | <p>■オリエンテーション 事務局様研修のゴール確認、講師自己紹介</p> <p>1. これからの管理者に求められる「部下指導力」 ①環境変化に伴う「部下の指導育成」の方向性 ②部下指導育成の全体像 ③現状の振り返り</p> <p>2. 日常業務におけるOJTの進め方（事例研究） ＜事例研究のポイント＞ ①自身が忙しい状況での関わるタイミング ②主体性の開発に向けた仕事の教え方、与え方 ③職場全体で指導育成するためのポイント</p> | <p>研修開催の背景の確認、講師自己紹介 研修のゴールと進め方の確認、グループ内自己紹介</p> <p>①他社事例を引用しながらキーワードを整理する ②指導育成の3つの柱、OJTの流れとポイントの理解 ③部下指導育成の現状を受講者間で共有 ※③は事前アンケート実施、グループ内意見交換</p> <p>事例研究は事前課題で個人研究 グループ内意見交換→全体発表→講師総括 事例研究を踏まえ自職場の課題と対策の方向性を整理</p> |
| 午後 | <p>3. 部下の能力向上に向けた具体的な指導 ①部下の指導ニーズの把握 ②スキルアップに向けたティーチング ③主体性を引き出すコーチング</p> <p>4. 面談実践力の強化（ロールプレイ実習） ＜実習のポイント＞ ①言いにくいことをいう手法 ②部下の主体的な成長を引き出す手法 ③自分の強みを活かす</p> <p>5. まとめ 質疑応答、グループ内感想共有、今後の展開について</p> | <p>①部下の能力把握の進め方（アセスメント） ②明瞭簡潔な説明と理解度の確認 ③質問手法中心の進め方を理解する</p> <p>グループ内実習（上司、部下、観察者の3人1組） ①アサーティブを主体とした具体的な物言いを理解する ②自分事と捉えていくような具体的な問いかけを理解する ③TAS診断の結果を参考に今後の関わり方を考察する</p> <p>グループ内で本日の感想共有、講師総括 事務局様ごあいさつ</p> |

※講義の進行状況によって項目や順番を変更する場合があります

<受講者の感想>

- 時間がないことを理由に部下指導が疎かになりがちだったが、短時間での部下面談指導の方法が理解できたことで、部下との接点が増えた
- 言い方、聞き方一つで、部下の反応や理解度が変わることを見直した
- 部下とコミュニケーションがとれていると思い込んでいたが、一方的に発信、指摘をしていることがわかった（部下の話聞いていない）
- 「〇〇さんは～なタイプだ」「△△さんは～に違いない」と自分独自の見方で指導の幅を狭めていたことがわかった（いろんなアプローチ方法はある）

<事務局様の感想>

- 面談指導を基軸にした部下指導（OJT）の全体像を見直すきっかけになった
- ハラスメントの対策も含め、具体的な場面を想定したOK・NGの言動について、現場ときちんと話し合っていく必要性を感じた
- 映像で自分の話し方、聞き方の傾向を把握したことで、現場に戻ってからは自分の思いや指導が伝わっているかを考えながら接するようになっている
- コミュニケーション診断（部下のタイプ把握）を理解することで、部下への接し方や話し方が変わってきて、結果として会話が増えている

- 受講者適正人数は18～24名ですが、適正人数を超える場合でも、展開手法を工夫しての実施は可能ですのでご相談ください。
- 研修は1日間コースですが、ロールプレイに特化した半日コース等も実施しています。
- 貴社の事情に沿ったオリジナルケースも作成可能です。受講者の参画意識を醸成しますのでご検討ください（オプション）
- 実際のロールプレイの場面を動画撮影して、自分自身の傾向性を把握して今後につなげるオプションも可能です
- 事後の実践報告については、全体報告会に併せて、Webミーティングによる個別フィードバックも行います（オプション）